

バイオスティミュラント剤 GAXYの特長と使い方について



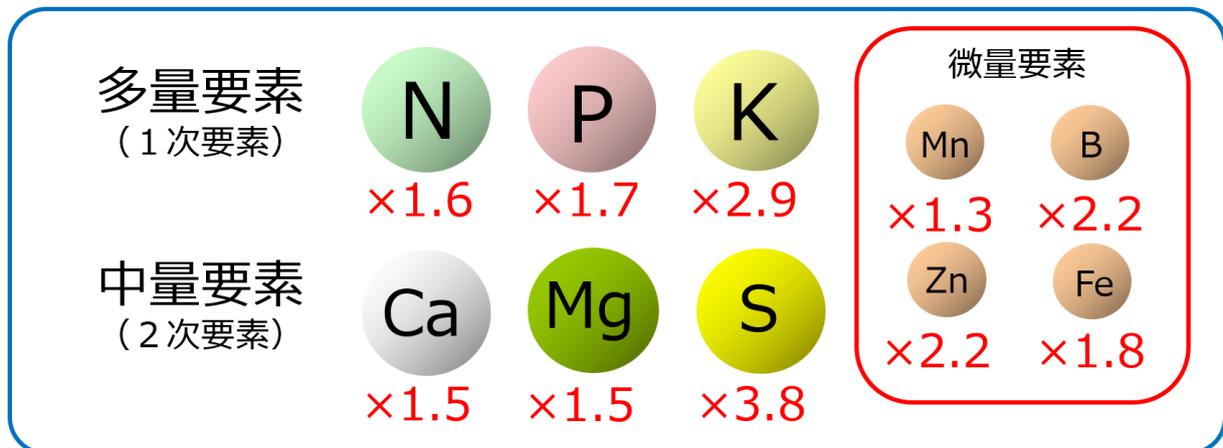
「GAXY（ギャクシー）」はフランスのブルターニュ地方に自生する海藻「アスコフィラム・ノドサム」を原料に抽出・調整した機能性バイオスティミュラント（BS）剤です。海藻成分由来ながら、低粘度で肥料／農薬との親和性が高く作業性に優れます。バイオスティミュラント（BS）としてのポテンシャルも高く、花・野菜のほか水稻や果樹など幅広い作物に使用することができます。

●容量：1L ★使用の目安：1ha 当り 0.5～1L を希釈して葉面散布。※根圏施用も可 ●活性剤

《GAXYの特長と効果》

- * 環境ストレスの緩和（高温・低温・乾燥・過湿など気象ストレス）
- * 肥料要素の吸収促進（ホウ素・微量元素との組み合わせ散布）
- * 栄養吸収に関する酵素活性を高める
- * クロロフィル量を増加させ、光合成能力をサポート
- * 「ポリアミン」の内生誘導効果（開花結実やバイオマス増加など）

【GAXYの効果】肥料要素の吸収促進（トマトモデル）



GAXY散布により肥料成分（ミネラル）の吸収が改善され、肥効率がUPします。特に多くの作物で最大となるカリウム（K）は2.9倍、吸収にくいカルシウム（Ca）は1.5倍、ホウ素（B）は2.2倍の吸収率になることが試験により判明しています。

BS（バイオスティミュラント）とは？

植物に供することで「植物の能力と農作物の価値を高める」資材の総称です。BSは作物や土壌環境などその周辺環境が本来持っている自然な力を活用して、

- ①植物の健全さ
- ②ストレスへの耐性（耐塩性・耐寒性・耐暑性・耐乾燥性など）
- ③収量と品質
- ④収穫後の状態及び貯蔵

以上に対して良好な影響を与える物質や微生物およびそれらに類する技術の総称になります。

GAXY 散布で誘導される「ポリアミン」とは…?

第一級アミノ基が3つ以上結合した直鎖脂肪族炭化水素の総称。ウイルスから動植物まで、あらゆる生体中に含まれ、細胞分裂や蛋白合成などの活動に関与している成長因子です。

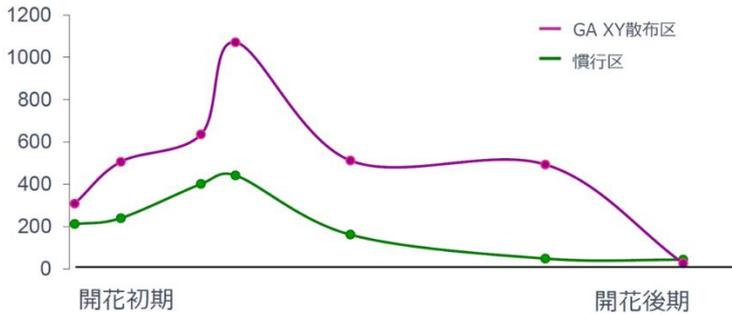
【生理作用】

*細胞分裂や増殖の制御 — ポリアミンがないと細胞分裂や増殖は行えない。

*RNA などの核酸、タンパク質などの合成促進、抗加齢効果あり。

植物においてポリアミンは胚発生、細胞分裂、形態形成、花器官の発育そして果実の成熟や日持ち性など細胞増殖や細胞機能維持へ作用するばかりでなく、病原菌、塩、浸透圧そして極温などの種々の環境ストレスに対する適応反応に関与していることが示唆されています（植物ホルモンのセカンドメッセンジャーとされる）。

果実の肥大を均一化



出典: University of Bordeaux II (Laurence Geny 2003)

りんご幼果でのポリアミン測定例



中央の果実

ポリアミン量
529ミリモル

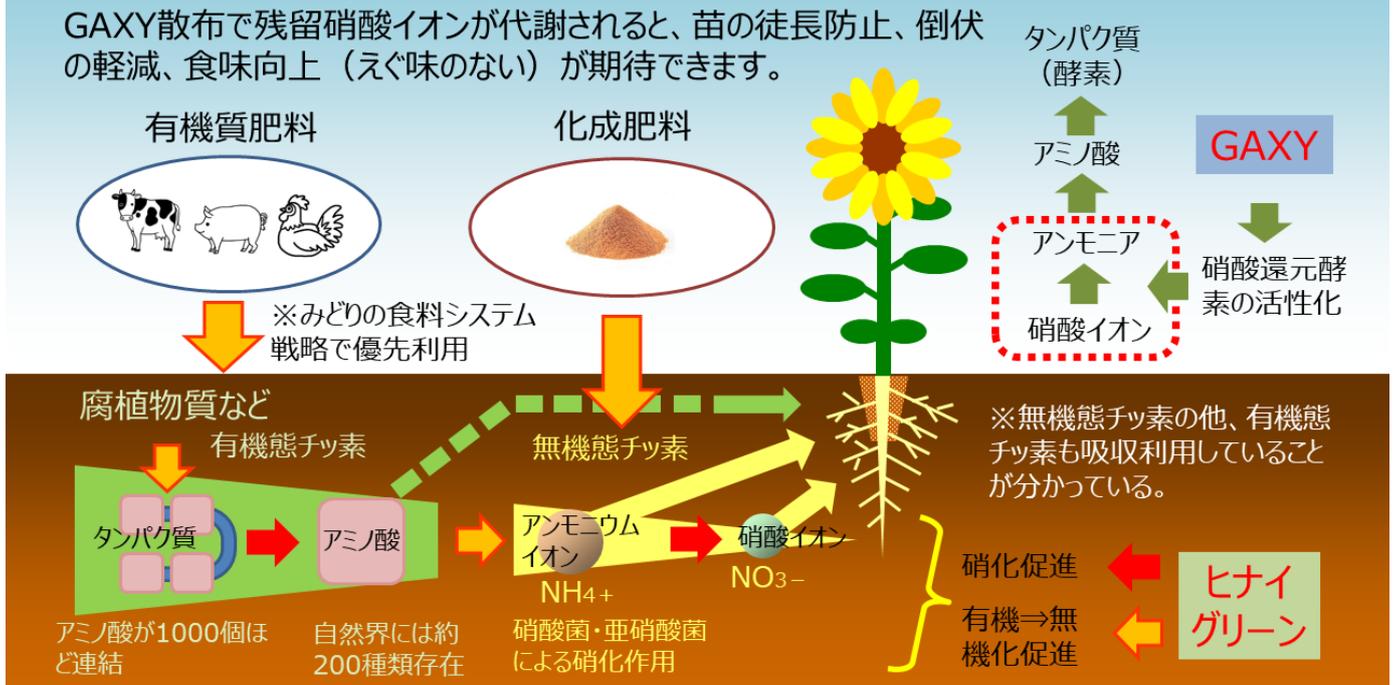
周辺の果実

ポリアミン量
409ミリモル

果樹類はポリアミンが開花から幼果期に多く合成されるほどサイズや均一性が良好になる傾向があります。ヨーロッパでは開花に関与する準植物ホルモン様物質として認識されており、GAXY 散布により植物の内生ポリアミンが誘導され、生殖生長（開花～結実～初期肥大）に良好な影響を及ぼすことが分かっています。

【BS活用・新提案】GAXY・ヒナイグリーンで窒素循環をスムーズに！

GAXY散布で残留硝酸イオンが代謝されると、苗の徒長防止、倒伏の軽減、食味向上（えぐ味のない）が期待できます。



★上手な使い方 (ポイント)

- *ドローン (無人機など空中散布) : 原液 50~100cc/10a ※農薬と混用可能です
- *葉面散布 (5000~10000 倍) / 1-2週間ごと
- *ほとんどの作物で生育初期の葉面散布が効果的です (定期的を使用することをおすすめします)
- *果樹については開花期間に 2-3 回の散布が効果的です